11月・12月の主な研修

【動画】：開始日（10:00）終了日（17:00）
以外は、24時間視聴可
※詳細は、研修センターホームページ、公式X、メール情報便等でお知らせします。

- **【動画・集合】ケアマネジャー研修 実践力向上【現任】**
(1)動画:R8.10.13(火)～ R8.12.15(火)　講師:新居 順子 氏
(2)集合:①R8.11.13(金)②R8.12.14(月)各14:00～17:00
- **【動画】認知症ケア研修 認知症の理解「若年性認知症の理解と支援」**
R8.10.30(金) ～R8.11.30(月)　講師:駒井 由起子 氏
- **【動画】在宅療養講演会シンポジウム「住み慣れた地域でこれからも安心して暮らし続けるために」**
R8.11.5(木)～R9.3.31(水)　講師:髙橋 裕子 氏ほか
- **【集合・ライブ】経営力向上セミナー「介護ICTを活用した組織・経営戦略」**
R8.11.6(金)14:00～16:00　講師:紀伊 信之 氏
- **【集合】食支援研修(栄養・調理)「免疫力アップのためのレシピ」**
R8.11.18(水)　講師:竹内 洋子 氏、小林 千晴 氏
【1回】10:00～12:30　【2回】14:30～17:00
- **【ライブ】メンタルヘルス研修「希死念慮のある方への対応の仕方」**R8.11.9(月)14:00～16:00 講師:田村 三太 氏
- **【動画・集合】ケアマネジャー研修 実践力向上【リーダー】リーダー養成**　講師:佐藤 庸平 氏
①動画:R8.11.9(月) ～R9.1.15(金)
②集合:R8.12.1(火) ・R9.1.14(木)各14:00～17:00
- **【集合】ケアマネジャー研修(リーダー)「スーパービジョン応用編 」**
R8.11.10(火)13:30～17:00　講師:渡部 律子 氏
- **【集合・動画】高齢者虐待対応研修（第１回）「家族介護者の理解と支援」**
①集合: R8.11.19(木)14:00～16:00
②動画: R8.12.7(月)～R9.1.7(木)　講師:川崎 裕彰 氏
- **【ライブ】信頼関係を築くための接遇・マナー向上研修「ワークで学ぶスピーチロックを防ぐための介護の接遇・マナーと実践」**
R8.11.12(木)14:00～16:00　講師:蜂谷 英津子 氏
- **【集合】ケアマネジャー研修【共通】「ケアマネジャーに求められるファシリテーション力」**
R8.11.24(火)13:30～16:30　講師:千葉 明子 氏
- **【集合】福祉・医療職の実践力アップ講座 キャリアデザインとセルフマネジメントについて学ぶ(リーダー編)**
R8.11.30(月)13:30～16:30　講師:増田 直哉 氏
- **【動画】ひきこもり(8050問題)の理解・支援力向上研修「ひきこもりの理解と支援について」**
R8.12.21(月) ～R9.1.20(水)
講師:山﨑 啓 氏、田邉 仁重 氏、足立 千啓 氏

せたがや福祉区民学会 第１８回大会開催

皆さまのご来場お待ちしております

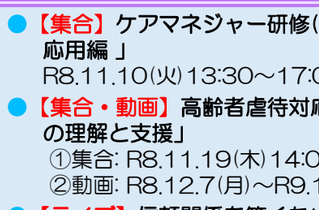
せたがや福祉区民学会第18回大会は、**令和8年12月13日（日）昭和女子大学**にて、**「共に考える『困難』への向き合い方」**をテーマに開催いたします。

内　容

〔基調講演〕「だれもが幸せになる権利がある
～福祉職は『困難』にどう向き合うか～」
渡邊 美代子氏（一般社団法人コットンマム代表）
〔実践研究発表〕 74事例
〔ワークショップ〕「その人らしく“生きる”を支える」
〔大会プラス〕「KAiGO PRiDE@SETAGAYA」写真展
区内障害者施設による展示販売
福祉・介護のしごと魅力発信！

学生実行委員を中心にグループセッションを行います。

◀ワークショップ事前申込





大会の詳細は、令和8年11月下旬以降事務局ホームページに掲載いたします。

懇親会

〔会　場〕 昭和女子大学 学園本部館 3階大会議室
〔参加費〕 2,000円（学生1,000円）
〔申　込〕 二次元コードまたは電話
締切 11月27日（金）

◀懇親会事前申込



最新の研修案内が手軽に確認できます！ぜひご登録ください！

研修センター公式X
フォローしてください！
@SetagayaKenshuC

福　祉　の　し　ご　と　相　談

研修センターでは「福祉のしごと相談」をお受けしています。相談無料、匿名OKです。ひとりで悩まないで、気軽にご相談ください。

★福祉のしごと　はじめて相談
相談日：月～金　９：00～16：00
方　法：来所・電話・メールで

★福祉のしごと　悩み相談
◉面 接 相 談　毎週木曜日 ①18：30～ ②19：30～
◉メール相談　soudan@setagayaj.or.jp

発 行：世田谷区福祉人材育成・研修センター
〒156-0043世田谷区松原6-37-10
世田谷区立保健医療福祉総合プラザ１階
電　話：０３－６３７９－４２８０
ＦＡＸ：０３－６３７９－４２８１
Ｈ　Ｐ：https://www.setagaya-jinzai.jp/

世田谷区福祉人材育成・研修センター
じんざいくん便り
令和８年 10月　第39号

令和８年度 在宅療養講演会・シンポジウム

住み慣れた地域でこれからも安心して暮らし続けるために

令和８年10月３日（土）
世田谷区立保健医療福祉総合プラザ

20代から80代の約100名の方々にご参加いただきました。基調講演では、**「在宅療養に関する世田谷区の現状と取組み」**について、シンポジウムでは、在宅療養を支えたご家族、医師、ケアマネジャー、訪問看護、訪問介護から事例をふまえた話をお聞きし、**住み慣れた地域でこれからも安心して暮らし続ける「備え」のヒント**を一緒に考える機会になりました。

基調講演



世田谷保健所烏山保健相談課長
髙橋　裕子

生老病死はだれにも平等で、だれもがいつかは自分の死を迎えなければなりません。そのような時にあっても、**「自分の応援団」**がいると安心です。世田谷区では、在宅医療・介護連携情報として**「せたがやケアサーチ」**で、お住まいの地域の事業所が検索できます。ぜひ活用して、**「自分の応援団」**を見つけてください。

世田谷区介護事業者・在宅医療資源情報検索システム
せたがやケアサーチ　世田谷区ホームページ(ページID：3372)
https://carepro-navi.jp/setagaya

シンポジウムの様子



【配信開始】令和8年11月5日（木）10時～

シンポジウム　（コーディネーター：髙橋　裕子 世田谷保健所烏山保健相談課長）



在宅療養を支えたご家族
森岡　真一郎 氏

サポートしてくれる方々はたくさんいます。その方たちを信頼して、本人だけでなく、**家族が無理のないように暮らしていくための選択も大切**だと思います。



マイナビ訪問看護ステーション
葉柳　希望 氏

在宅療養している方の中には、孤立していたり情報が不足している場合があります。**悩んだり迷っても相談しながら決めてもよいこと**を支援者が伝えることも大事です。



世田谷ホームケアクリニック
太田　雅也 氏

「もしもの時」は、ある日突然やってきます。自分が住んでいる地域にどんな**医療機関や事業所、施設などがあるのか、日頃から調べておく**と将来の「備え」に繋がります。



砧介護保険サービス
広本　正子 氏

ケアマネジャーは在宅療養の要として、日々情報収集をしています。**悩んだり、わからないことがあれば、ケアマネジャーに相談**してください。



ヘルパーステーションモア世田谷経堂
中山　千尋 氏

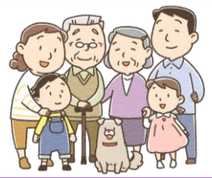
本人の選択に寄り添い、地域で安心して暮らせる生活の実現に向けて、**介護・医療・ケアマネジャー等の多職種と行政がチーム一丸となって共通の目標に伴走**します。

【アンケートより】

実際の看取りの様子まで聞くことができてイメージしやすかった。(20代)



慢性疾患を持つ親がおり、今後の在宅生活においてとても参考になった。(40代)



高齢夫婦2人なので、今後の生活をどうしたいか話し合いの参考になる情報を知ることができた。(80代)



訪問看護のおしごとセミナー

事例に学ぶ在宅医療と地域連携～地域共生社会で求められるこれからの看護の役割～

令和８年9月19日（土）
世田谷区立保健医療福祉総合プラザ



第１部は、ふくろうクリニック等々力・自由が丘の山口潔先生を講師に迎え、**「地域における医療と訪問看護師の役割」**について事例をふまえご講演いただきました。参加者からは、「地域医療について、エネルギッシュで熱い思いが伝わり、とてもよかった」「訪問看護のイメージが変わりました」との感想がありました。第２部**「訪問看護の実際・訪問看護師との懇談会」**では、現役の訪問看護師から、直接、話を聞けたことで、就業への不安が減ったとの声もありました。

次回は、**「災害時における訪問看護の役割」**について、熊本地震を例に訪問看護の役割を考えます。看護師・准看護師の方、看護学生、看護師を目指す方、この機会にぜひご参加ください。

【次回開催】★日時：令和8年12月5日（土）14時～16時　★会場：世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階研修室C

研修ピックアップ

介護技術研修【現任１】

作業療法士直伝！介助者も利用者も楽になる移乗介助

～支持基底面・視覚情報に着目した介助方法について～

【集合研修】
開催日時：令和8年7月10日（金）
18時～20時

利用者の生活の質を高めるために重要な移乗介助。利用者の力を最大限に引き出すためのリハビリ視点を取り入れた、介助者が最小限の力で行える「身体に優しい」移乗介助について学びました。



講師 藤本　祥多氏
世田谷区社会福祉事業団
訪問看護ステーション三軒茶屋
作業療法士

支持基底面とは？

足の裏など床と接して体重を支えている部分と、その間を含めた「からだを支える床面の広さ」。広いほど姿勢は安定し、狭いほど不安定になる。



支持基底面と筋緊張

筋緊張とは、筋肉の緊張度合いのこと。筋肉が緊張して硬くなり、力んでいる状態。支持基底面が広いと、安心・安全を感じられ、筋緊張が緩和する。

	心理面	筋緊張
支持基底面　広い	安心　安全	緩和
支持基底面　狭い	不安　不安定	亢進

移動・移乗時には、支持基底面を広く確保することを意識しながら、動作誘導をする

利用者の心理

強く握られたり、支えたりされると、**痛みや抵抗**が生じる。

ベッドからの起き上がりや、移乗時には、地面や床との距離があるために、落下や転倒するのではないかという**不安や怖さ**を感じる。

自分で掴まれるところがあると、安定感が増すので安心！

介助量を減らすためには

触れ方を確認

視覚情報を制限する

筋緊張 DOWN

タオル、机、テーブル、椅子などで床や広い空間を見えないようにする。

利用者が安心する環境を整える

まとめ

利用者が楽と感じれば、介助者も楽になる

利用者が楽に動けるために、どうすべきか、一人ひとりに合わせて考えることが大切。

アンケートより

- 力を使って行っていた部分があったので、支持基底面を利用して活用したい。
- ベッドからの起き上がり時に、床が見えると恐怖心が生まれることが実体験できた。

介護技術研修【新任】

基本視点と技術の確認

～自己流から「根拠ある介護」へ～

【集合研修】
開催日時：令和8年9月2日（水）
14時～17時

移動・移乗など、曖昧になってきている「基本」を確認し、ボディメカニクスの８原則をとおして、なぜそのような動きになるのかという「根拠」を演習を通じて学びました。



講師 堀口　将　氏
身-体工房　ほ
介護福祉士　介護教員･施術家

介護の基本視点

①安全を支える
②尊厳を支える
③自立を支える
④総合的に支える

介護職員の心構え

①尊厳を守り、ニーズを探る
②同意を得られる説明力を身につける
③できること、困難なこと、無理をしていることを把握する
④利用者と介護職員の安全を考える
⑤ホウレンソウ（報連相）とオヒタシ
⑥自己研鑽とチーム研鑽

身体を痛めない介護技術

①声かけ
・声かけにより緊張を緩和し、動作を促す
②身体の触れ方
・鷲掴みにしない、指先で持たない、強く握らない、下から支えるように持つ
③ボディメカニクスの活用



ボディメカニクスの８原則

順番にも意味があります

①てこの原理を使う → ①物体が動く時の基本原理
②支持基底面積を広くする
③重心を下げる
④動作の方向に足先を向ける
⑤大きな筋群を使う → ②～⑤介護者が安定するためのもの
⑥対象に近づく → ⑥安定・不安定双方の役割を担うもの
⑦対象を小さくする
⑧水平に移動する → ⑦～⑧対象を不安定にするためのもの

オ：おこらない
ヒ：否定しない
タ：助ける
シ：指示する



アンケートより

- 資格をとったのがずっと前だったので、新たに学ぶことばかりでした。
- ボディメカニクスの８原則を利用して利用者も自分自身も楽な体勢で介護をしたい。

福祉・医療職の実践力アップ講座（共通）

「リスクマネジメント研修」

事故の対応の基本と、現場の「盲点」をなくす視点について

【集合研修】
開催日時：令和8年8月26日（水）
13時30分～16時30分

現場の事故やヒヤリハットがなくならないのは、その背景に、日常の忙しさに潜む**無意識の習慣**や、**小さなコミュニケーション不足**という根本的な原因があるからです。そのことを踏まえ、事故発生時の対応や平時のリスク評価といった基本と、従来の「見方」が変わる、実践的なリスクマネジメントを学びました。



講師 増田 直哉 氏
株式会社エイデル研究所
経営支援部 チーフコーディネーター

事故の対応をめぐるポイント

入所面接･アセスメント
↓
重要度レベル2 利用契約締結･サービス開始
↓
重要度レベル1 サービスの利用継続
↓
事故発生！！
↓
重要度レベル3 事故直後の対応
↓
事故後（症状固定･保険査定）

契約時に注意すべきポイント その①

契約担当者の説明内容を確認しておく！

- 契約書
- 重要事項説明書
- 事業所のパンフレット



契約業務担当者が何について**どのように説明しているのか**を、**現場のスタッフ全員**がしっかりと把握しておくことが重要

契約時に注意すべきポイント その②

自施設のサービスを明確に定義し、共有する！

家族に聞かれて**答えられないこと**は意外に多い

例えば・・・

- 施設内に**食べ物を持ち込んでも**良いか？
- 施設内に**お酒を持ち込んでも**良いか？
- 近くのお店まで買い物・外出したいけど、**職員の付き添いは**可能か？　など

入所後の生活で注意すべきポイント

施設・事業所としての接遇・雰囲気を確認する！

- 職員の**接遇**（あいさつや制服の着こなし等）ができているか？
- 利用者や家族と対面していない場面での**職員間の言動**は大丈夫か？
- 施設内、事業所内の**清掃や整理整頓**ができているか？
- 施設や事業所に対する**愚痴**を無意識に現場で口にしていないか？



事故直後で注意すべきポイント

取組むべき項目
① 応急処置
② 記録と事故対応の振り返り
③ 少額でも手当てする（見舞金）
④ 原因分析と再発防止策の策定
⑤ 継続的なフォロー
⑥ 道義的謝罪と調査結果の説明

施設側として誠意を示す！

誠心誠意

応急処置を確実に行う！

- 看護師や医師を呼び、救急対応等の**段取り**をする。
- **誰でも**最低限の救急処置ができるようにしておく。

普段から定期的に講習会等を開催する

事故状況の振り返りのため記録をきちんととる！

- 救急対応の後、落ち着いた頃を見計らい、**「緊急ミーティング」を開催**して、職員間で事故状況を確認する。
- なぜ、事故が起きてしまったのか、当時の**利用者の状況**、いつもと**様子が違った点**、また**その理由**等について現場スタッフに意見を求める。

組織として何ができるのかを考える

お見舞金とは？



賠償金	加害者が被害者に支払うもの
示談金	交渉の結果、問題を解決するために加害者側が被害者側に支払うことを謳めた、**損害賠償額の全額**または**一部**
見舞金	**事故責任とは関係なく**、被害にあった者に対し同情と応援の意味を込めて贈与する**支援金**

継続的なフォローのために･･･

- 手術や転院等の節目にはできる限り立ち会い、**誠意をもって**寄り添い続ける姿勢をお伝えする。
- 利用者や家族の負担にならない程度に、こまめに**お見舞い**に伺う。

継続的にかかわることで、時間を味方につける

介護事故防止に向けて

介護事故防止のための「基本活動」

1.**安全規則を遵守する**
介護手順等の安全ルールを徹底することにより、**ルール違反による事故をなくす**

2.**危険発見活動（危険を見つける）**
① 施設設備等の管理における**危険の発見と改善**
② 利用者個別の**危険性の把握と対処**

ヒヤリハット活動の実施

介護事故防止のためには「リスクアセスメント」も大切な視点！

事故予防のためには、**施設内の危険箇所**もこまめにチェックすることが大事！

【施設内危険箇所改善管理表】
危険な箇所を発見して見直そう！



どこが	どんな状態で	どんな危険が	どんな対策を	期限	責任者	理由	確認
浴室	排水口のフタが外れやすい	利用者の足などを傷つける	滑り止めテープを貼る	1/27	主任		✓
トイレの便座	便座の温度が上がっていた	利用者が火傷する	排泄介助前にチェックする	未定	事務長		✓

アンケートより

- 家族への対応方法、事故が起きた場合の対応について職場で共有したい。
- 日頃からの関係性、事故前・事故後の対応を時系列に実施すべきことを再確認した。職場内のOJTでも活かしていきたい。

「福祉・医療職の実践力アップ講座」は、**初任者・中堅・チームリーダー**各職層ともにスキルが学べる研修です。